



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ガーラ・レジデンス横浜港北	階数	地上7F
建設地	横浜市港北区新羽町字中町1179番3、1180番2	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	168 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 竣工	評価の実施日	2020年5月14日
敷地面積	1,326 m ²	作成者	株式会社 多田建築研究所一級建築士事務所
建築面積	612 m ²	確認日	2020年5月14日
延床面積	3,255 m ²	確認者	株式会社 多田建築研究所一級建築士事務所 多田 正範



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	工場地帯の為、建物全体的に明るめの色彩とし街並みとの調和に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部の遮音性能T-2を使用。 F☆☆☆☆の内装材を全面に使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 都市緑地法に基づいた緑地を整備する。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示「5-1断熱等性能等級4」相当の性能を確保している。	LR3 敷地外環境 駐輪台数は計画戸数の200%を整備し、路上駐輪対策をとっている。
Q2 サービス性能	Gbitのブロードバンドが利用できる環境を整備する。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が安易に分別可能としている。 節水型便器の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



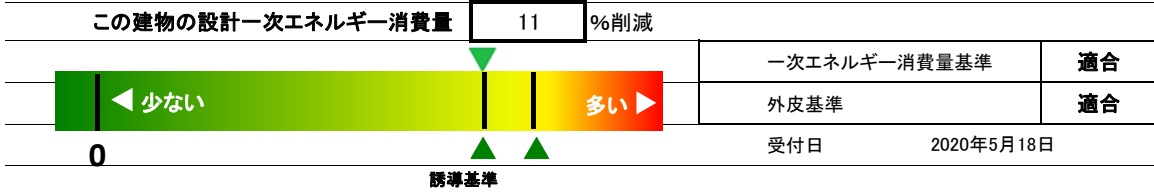
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ガーラ・レジデンス横浜港北**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示 5-1断熱等性能等級 等級4 相当の性能。

③BEI=0.89

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の内装材を全面に使用している。

⑦防犯カメラ、オートロックの採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯日本住宅性能表示 劣化対策等級3

⑰エントランスホールに2ヶ所オートロックシステム採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

ガーラレジデンス横浜港北

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境									3.4
1 音環境					2.0	0.15	3.6	1.00	3.3
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音					1.0	0.50	4.3	0.50	-
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					-	-	4.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	4.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	4.0	0.20	-
1.3 吸音					-	-	-	-	-
2 温熱環境					1.4	0.35	4.0	1.00	3.4
2.1 室温制御					1.3	0.50	4.0	1.00	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		1.0	0.63	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能		2.0	0.38	4.0	1.00	-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		2.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境					2.0	0.25	3.7	1.00	3.3
3.1 昼光利用					1.8	0.30	3.4	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境		1.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境		-	-	1.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境		1.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.25	-	-	-
4 空気環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境		4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	-	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.1
1 機能性					3.0	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性		1.0	-	5.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性		1.0	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					2.4	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性		1.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性					3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					-	-	2.6	0.50	-
1 階高のゆとり					1.0	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ					1.0	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7

ガーラ・レジデンス横浜港北

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.2	0.50	-	-	4.2		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3		
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33	-	-	3.9		
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目						-	-	-		
<事務用途>						-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-		
<住宅用途>						-	-	-		
健康と安心						-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		5.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		5.0	-	-	-	-		